ふれあいネットワーク

あいちのふくし

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会
名古屋市東区白壁一丁目50番地
☎(052)212-5500
編集発行人　安藤　貴康
http://www.aichi-fukushi.or.jp/

2018.08
no.492

特集
平成30年度事業計画及び一般会計資金収支予算
平成29年度事業報告概要及び一般会計資金収支決算
ミニ福祉検定（問題）……02・03
地域共生社会の実現にむけた社協の事業・活動の展開方針……04
民生委員 児童委員 活動紹介……05
施設紹介……06
福祉サービス利用支援センターだより……07
福祉生きがいセンターだより……08・09
福祉人材センターだより……10
愛知県共同募金会だより……11
第10回福祉の星フォーラムを開催します！……12
第32回ふれあいフォトコンクール作品募集！
「社会福祉手帳」「民生委員・児童委員手帳」販売の申込受付
福祉の保険 ご案内、ご寄付に感謝、ミニ福祉検定（解答）

成年後見制度と日常生活自立支援事業

愛知県社会福祉協議会　運営適正化委員会
苦情解決合議体　委員長　矢野　和雄

成年後見制度利用促進法の成立を受けて、成年後見制度の利用促進に関する動きが加速し、その一連の動きの中で本人の意思決定支援の重要性が強調されている。現行の成年後見制度の中で本人の意思決定支援を図ることができるかとの批判的な意見もあるところではあるが、利用者の視点から制度を再検討することは、判断能力が不十分な人の権利擁護の視点からは必要なことである。

ところで、意思決定支援をすでに実践しているのが社会福祉協議会が実施する日常生活自立支援事業である。各地の社協では専門員と生活支援員が利用者に寄り添い、その人らしい生活の実現のため、利用者の意思を支援しつつ日常的な金銭管理や福祉サービスの利用支援等の活動に従事している。後見制度と日常生活自立支援事業が想定する利用者は完全に一致するわけではないが、いずれの制度の対象にもなる人は存在している。成年後見の利用促進がクローズアップされる中で、今一度、利用者の意思決定支援という点から日常生活自立支援事業が果たしている役割・意義を再確認することも、権利擁護の視点からは必要ではないかと考える昨今である。

第31回　ふれあいフォトコンクール　愛知県社会福祉協議会会長賞
「夏色の日」　大門　陽子さん撮影

福祉生きがい・健康づくり活動の推進

1世代間交流事業の推進、高齢者の生きがいと健康づくり活動の推進
- あいちシルバーカレッジ事業の実施
- シニアサポーター養成講座の開催
- 世代間交流事業の実施
- 生き生き長寿フェア事業の実施
- 全国健康福祉祭事業への選手団派遣
- 第53回愛知県老人福祉大会

2障害者スポーツの推進と参加促進
- 県大会の開催
- 全国障害者スポーツ大会への選手団派遣
- パラリンピアンなどトップアスリートとのふれあい交流・競技体験事業の開催
- 障害者スポーツ指導員の養成・確保

社会福祉法人・施設等への支援

1委員会・部会活動の充実
- 委員会事業・部会事業の充実
- 制度・施策への提言活動の強化
- 個別相談事業の充実
- 部会会員のあり方検討
- 情報ネットワークの活用

2福祉サービス第三者評価推進事業への取組
- 第三者評価の受審促進
- 評価機関及び評価調査の質の向上
- 県民への福祉サービス第三者評価の広報・啓発

新たな「あ・い・ち・ふ・く・し」の推進

1生活困窮者への支援
- 地域における（生活困窮者自立支援に係る）支援体制の強化
- 生活困窮世帯の子どもの学習支援等の実施
- 生活福祉資金（教育支援資金）貸付事業の啓発

2新たな貸付制度への対応
- 修学資金等貸付事業の実施
- 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の実施

3社会福祉法人への支援
- 地域における公益的な取組への支援
- 経営組織のガバナンスの強化等の取組の推進

4福祉人材育成の取組
- 新たな人材の発掘と広報・啓発の充実
- 高齢者介護人材確保対策事業の実施

5災害時における相互支援体制の整備
- 大規模災害を想定したネットワークの推進と情報提供支援
- 事業継続計画（BCP）・避難確保計画等の策定推進
- 社会福祉施設の相互支援体制への支援
- 愛知県災害派遣福祉チーム（愛知DCAT）の推進

6福祉協働ネットワークの推進・福祉キャンペーン活動の取組
- 福祉と技術との連携・協働（企業や大学・研究機関等の他分野との連携・協働）
- 福祉の仕事の魅力発信
- 広報・啓発の充実

法人経営管理の強化推進

1主体的な法人経営及び信頼される法人組織
- 経営管理の強化・適正な運営の確立
- 事業運営組織の強化（職員体制の強化・働きがいのある職場の整備等）
- 「あ・い・ち・ふ・く・し」のブランド化

福祉人材の確保・養成・定着の推進

1潜在的な福祉・介護人材の確保、福祉人材の養成研修の実施、福祉人材の定着支援
- 潜在的な福祉・介護人材の確保
- 研修事業の推進
- 福祉人材の定着支援
- 保育人材の確保

6成年後見制度への取組
- 成年後見制度研究委員会報告書の策定
- 成年後見制度推進委員会の設置
- 地域におけるネットワーク構築の推進
- 成年後見制度の広報啓発

地域福祉活動の推進

1市町村社協への支援
- 地域福祉活動の推進
- 地域福祉計画・地域福祉活動計画等策定の促進
- 地域福祉担当専門職員の配置と事業推進
- 地域福祉の推進を図るための実践者養成等の取組

2ボランティアセンターの強化
- 市町村社協ボランティアセンター基盤強化と機能充実
- 市町村社協における福祉教育の普及促進
- 地域における福祉教育の普及促進

3民生委員児童委員活動の推進
- 研修事業の充実強化
- モデル民生委員児童委員協議会活動の充実強化
- 「民生委員・児童委員、主任児童委員活動Q&A」改訂版の作成
- 広報活動の充実強化
- 民生委員児童委員活動愛知県推進方策（2018～2020）の推進
- 民生委員児童委員協議会活動に係る情報収集・提供

4生活福祉資金貸付事業の推進
- 相談支援体制の整備
- 生活困窮者自立支援制度と生活福祉資金貸付事業との効果的な連携の促進
- 経済的支援を伴う相談・自立支援の機能強化

5日常生活自立支援事業の促進
- 情報の共有・啓発によるノウハウの蓄積・継承
- 専門員資質の向上
- 関係機関とのネットワークの構築
- 生活支援員人材確保対策
- 市町村社協における運営の向上

みんなで挑戦!! ミニ福祉検定

1 17,099人　2 37,099人　3 57,099人

こたえは…巻末をご覧ください。

Q 6月7日警察庁のまとめによると、75歳以上の高齢ドライバーの認知機能検査を強化した改正道路交通法が昨年3月に施行されてから今年3月末までの約1年間で、検査を受けた2,105,477人のうち、「認知症の恐れがある」と判定されたのは何人でしょう。

平成29年度 事業報告概要

Ⅰ 時代の変化に則した福祉ニーズへの対応

① 総合的な権利擁護体制の構築
- 日常生活自立支援事業の推進
- 成年後見制度の取組支援
- 福祉サービス第三者評価推進事業の実施

② 生活福祉資金貸付事業等の推進
- 生活困窮者自立支援事業との連携
- 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の実施

Ⅱ 地域福祉活動の推進

① 市町村社協への支援・連携強化
- 地域福祉活動の推進
- 市町村社協における災害時の支援体制の整備
- 愛知県ホームヘルパー連絡協議会への協力と共同事業の実施
- 多様な団体等との協働促進（住民参加型在宅福祉サービス団体の育成）

② ボランティアセンターの機能強化
- ボランティア・市民活動の推進
- 福祉教育活動の推進
- 学習支援ボランティア養成・人材バンク事業の実施

③ 民生委員児童委員活動の推進・支援
- 民生委員児童委員協議会の機能強化
- 民生委員互助事業の実施
- 愛知県民生委員児童委員連盟事業への協力

④ 児童・青少年の健全育成と母子・父子・寡婦等への福祉活動の推進
- 児童・青少年の健全育成事業の推進
- 愛知県子ども会連絡協議会への協力と共同事業の実施
- 母子・父子・寡婦等への福祉活動の推進

Ⅲ 社会福祉法人・施設への支援

① 委員会・部会活動の充実
- 福祉サービスの充実強化を図るための委員会・部会事業
- 一般財団法人愛知県民間社会福祉事業職員共済会事業への協力
- 愛知県保育士会事業への協力

② 提言活動の強化
- 予算対策・政策提言活動の推進

Ⅳ 福祉人材の確保・育成・定着の推進

① 新たな福祉人材の養成・就労支援
- 福祉・介護人材確保対策
- 福祉・介護人材の養成
- 委員会の運営

Ⅴ 福祉生きがい・健康づくり活動の推進

① 生きがいと健康づくりの推進
- 障害者スポーツ推進事業
- 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

Ⅵ 広報・啓発機能の充実と新たな福祉文化の創造

① 情報発信・広報機能の強化
- 福祉キャンペーン活動の取組
- 福祉協働ネットワークの推進

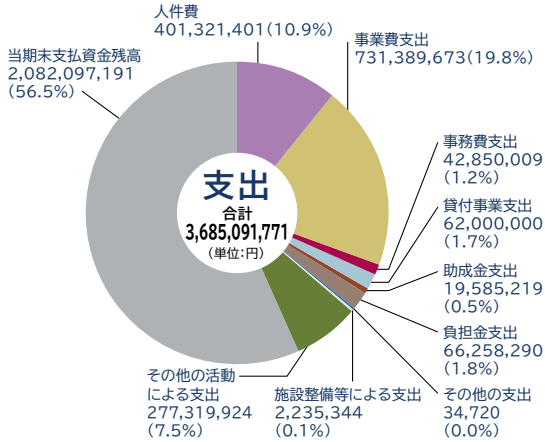
Ⅶ 法人経営基盤の強化と災害対策の推進

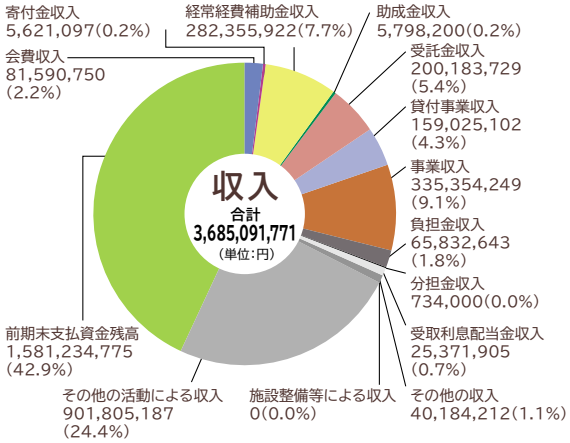
① 主体的な法人経営及び信頼される法人組織
- 役員会・委員会等の運営
- 経営組織のガバナンスの強化・事業運営の透明性の向上
- 福祉基金の造成強化と管理運用
- 民生委員制度創設100周年記念・第65回愛知県社会福祉大会の開催
- 愛知県社会福祉会館の運営
- その他の事業

② 大規模災害等に備えた体制整備

決算 平成29年度 一般会計収支決算

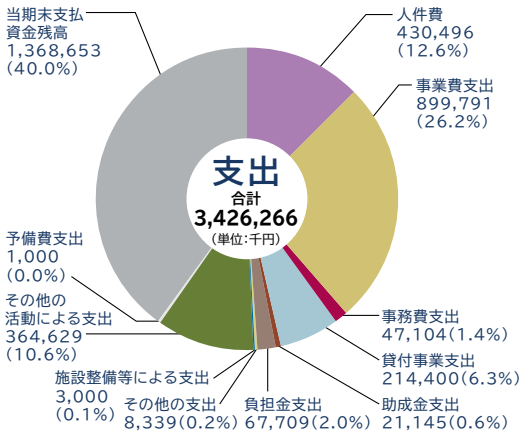
（単位 円）

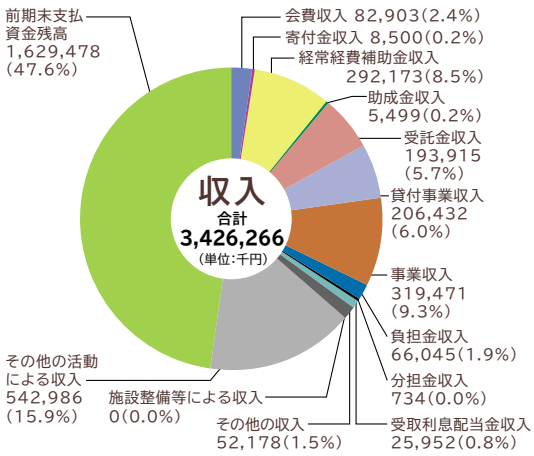




予算 平成30年度 一般会計収支予算

（単位 千円）





地域共生社会の実現にむけた社協の事業・活動の展開方針

全社協「社協・生活支援活動強化方針」第2次アクションプランを一部改訂

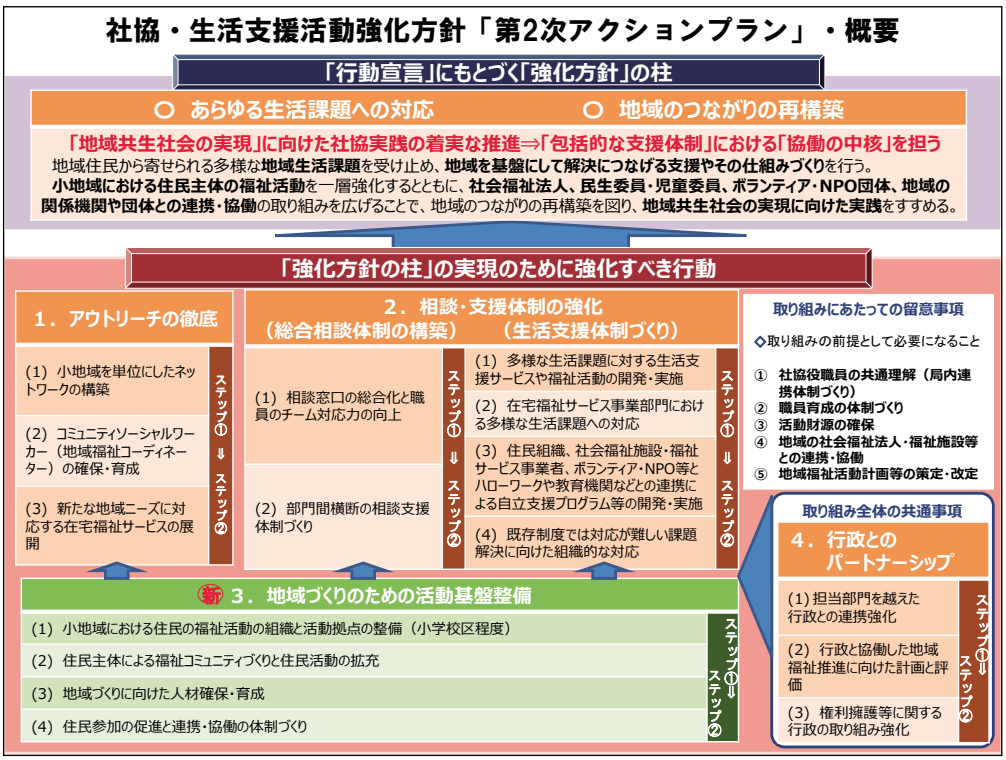
全社協・地域福祉推進委員会では、社会福祉法改正に伴い、地域共生社会の実現に向けて、平成30年3月に、「地域共生社会の実現に向けた社協の事業・活動の展開に向けて」（平成29年12月策定）をもとに、「社協・生活支援活動強化方針」・第2次アクションプラン（以下「強化方針」）を一部改訂しました。

今般の改訂のポイントは、地域共生社会の実現に向けた社協実践の推進を図ることにあり、そのため、強化方針にもとづく社協の事業・活動を地域生活課題への対応と包括的な支援体制の構築にどのように結びつけていくのかを、社協の当面の取り組み課題として整理しています。

この「強化方針」では、5つの行動宣言のうち、「1．あらゆる生活課題への対応」と「4．地域のつながりの再構築」を、すべてに共通する「強化方針の柱」として位置づけ、その上で、「強化方針の柱」の実現のために強化すべき行動として、「2．相談・支援の強化」と「3．アウトリーチの徹底」を位置づけ、さらに「5．行政とのパートナーシップ」については、取り組みにあたって常に意識すべき共通事項として再整理しています。

今後地域共生社会の実現に向けて、各社協においては、「地域生活課題」に応じた総合相談・生活支援体制の展開方策等をあらためて確認し、包括的な支援体制の構築において、その協働の中核を担い、行政および関係機関等とのパートナーシップや地域におけるプラットフォームとしての役割を強化・再構築することが求められています。

全社協では、本年度、都道府県・指定都市社協との連携のもと、市区町村社協の組織・事業基盤の強化と総合力の向上を目的として、「強化方針」チェックリストを作成し、各社協での自己評価と全国的な集計・分析を実施するとともに、これらについて研究・協議する「『社協・生活支援活動強化方針』普及・促進セミナー（社協活動ブロック会議）」を全国8ブロックで開催します。（東海北陸ブロックセミナー・11月に三重県で開催予定）



「強化方針」は、全社協の「地域福祉・ボランティア情報ネットワーク」に掲載されています。

https://www.zcwvc.net/

民生委員児童委員活動紹介

地域のみんなで支えあう「さんすいサロン」

瀬戸市水南民生委員児童委員協議会（平成29・30年度　愛知県社協モデル民児協）

地域住民の居場所「さんすいサロン」が発足し、この9月で一年になります。

「支えあう 住みよい社会 地域から」という100周年スローガン、地域住民が笑顔で安心して暮らせる社会『つながる』をコンセプトに、地元の「はーばす苗場店」様に場所の提供をいただき、また同町内の「マリア幼稚園」様にも協力を得て居場所作りが実現しました。

会場の定員に限りがあるため、通院や買い物以外で外出する機会の少ない『おひとり暮らし』の方々を対象にチラシをお配りし案内しました。

当初は何人集まっていただけるか分からず不安でしたが、回を重ねるごとに参加者の会話も弾むようになりました。そして民生委員とも一段と親しくなって、身近なサロンの必要性を実感しました。

「笑いヨガとウクレレ」を実施した春分の日には、車椅子に乗った12歳のお嬢様がご両親とサロンに出席してくださいました。

サロンに到着された時、私は彼女の手をそっと握ることしかできず、非常に冷たい手だったのが、お帰りの際、「また来てくださいね！」と握手したところ、とても温かい手になっていて、大変嬉しかったです。

また、あるおひとり暮らしの参加者宅を訪問した際には、「お嬢様の最初の頃の声のトーンが、終わりに近づくにつれ、段々と変わってきていたよ。」と嬉しそうに話してくださり、彼女の気持ちを見守っていただけたのだなと感じました。

さらに「お父さん、お母さん、頑張って！」と応援の言葉もいただき嬉しく思いました。老いも若きもみんなで楽しむことができ、これこそまさに『ノーマライゼーション』ですね。

参加者からは「講演の続編はいつですか？」、「楽しいから、これからも出席するわ！」とか、「次回も来ようね！」などと新しいお友達との約束もできているようです。

場所の提供者、参加者、民生委員の『三位一体』、そして支えてくださった市社協の皆様にも感謝申しあげます。

人生100年の時代を豊かに生きるため、誰もが役割を持ち、活躍できる地域共生社会の実現に向けてまいりたいです。

▲さんすいサロン入口

▲マリア幼稚園との交流

▲笑いヨガ

▲講演　元気で長生き

NO.	実施年月日	曜日	実施内容
1	H29.9.20	(水)	話し合い、歓談
2	H29.11.15	(水)	セラピーアート
3	H30.1.17	(水)	園児との交流（お手玉、あやとり、折り紙）
4	H30.3.21	(水)	笑いヨガ、ウクレレ
5	H30.5.16	(水)	講演「元気で長生き ～夏に向けて体へのアプローチ～」
6	H30.7.18	(水)	みんなで歌おう（ギター）

＊「さんすいサロン」は隔月第3水曜日に開催

施設紹介

社会福祉法人　ほっとはむ　障害福祉サービス事業所　ほっとはむ　管理者　飯田　幹雄

おいしくて安全な食品で地域貢献

障がいのある仲間が社会の一員としていきいきと働いています

障がいがある人たちが弁当やパン、クッキーなどを製造販売している「ほっとはむ」は、多機能（生活介護事業と就労継続支援事業B型）型、そして名古屋市内でもめずらしい一体運営（天白区内4か所の事業所で一つの施設）の事業所です。この4月からは、それまで2か所あったお弁当の製造場所を統合し、昼・夕食を製造する形に変え、さらにグループホームと併設した形で新事業所を開所し、定員70名の事業所として活動しています。

障がい者の自立した暮らしのための相談支援事業・ヘルパー派遣事業とともに、作業所での高齢者配食事業は20年余の歴史があり、地域に欠かせない助け合いの仕組みづくりを進めています。

障がいのある仲間たちがいきいきと働いています

地域の役に立つことですべての人に生きがいを

国産素材の手作りクッキーや焼きたてパンなどの販売、そしてカフェでのモーニング、ランチ営業をする天白区池場の「ハミングバード」は、ほっとはむ運営の施設です。「ほっとはむ」がスタートしたのは平成3年。最初は、現在も続いている「ほっとっと」での弁当製造から始まりました。地元生協の関係者と親、福祉関係者が植田山の「コープあいち植田山店」の2階で喫茶と弁当製造を始めたことが、そもそものきっかけでした。

当初から一貫しているのは、地域の皆さんに安全でおいしい食品を届けていきたいということ。障がいのある人たちが、食品を通して地域の役に立つことで生きがいを得られるような場所を作ってきました。設立した当時は、障がい者が働ける場所が非常に限られていたうえ、今と違って食品の製造に携わるということも一般的ではありませんでしたが、地道な活動が少しずつ実を結んでいき、徐々に社会的認知が高まっていきました。平成25年には天白区内平針に、全国各地の作業所製品を販売する福祉の店「ショップ結（ゆい）」を開所し、平成29年8月には名古屋市八事斎場内にて喫茶・売店事業を開始するなど、地域に役立つためのさまざまな仕事に励んでいます。

事業を通して地域に貢献

近年は高工賃をめざし、販売場所を広げてきました。天白区役所での「マーガレット・マルシェ」や地域の高齢者施設・学校などに販売に出かけます。また「出張マーガレットマルシェ」という名称で、天白区内の他の事業所と合同で、地域の大学や、農業センターしだれ梅まつりや生物多様性センターまつりなどの地域行事に出店する活動も4年目を迎えます。

その中でも、弁当やパン、クッキーの製造に地元で生産された質の良い食材を積極的に使っています。名古屋コーチンの卵を使用したプリンや「天白人参」「栗味かぼちゃ」を使用した焼き菓子など、地元の名産品を活用した地産地消を通して地域に貢献することも大切に進めています。

さまざまなかたちで地域との関わりを深めながら、障がい者や高齢者を支える仕組みづくりを進めている「ほっとはむ」では、今日もたくさんの人たちが、おいしい弁当やパンづくりに一生懸命取り組んでいます。

東海学園大学での販売

福祉サービス利用支援センターだより

『地域を支える』日常生活自立支援事業担当職員研修会

6月20日、福祉サービス利用支援センターでは「平成30年度　日常生活自立支援事業　担当職員研修会」を開催しました。

本研修は、日常生活自立支援事業の対象者に関わる支援の知識と技術を学び、本事業を担当する職員（専門員）の養成を行うことを目的として開催しました。午前中は、新任職員を対象として、県社協事務局から「日常生活自立支援事業の現状と課題」・「日常生活自立支援事業の事務」について制度説明及び事務の流れ等の説明を行いました。

研修参加報告の様子

午後からは、本事業の審査会委員であり、愛知県社会福祉士会の神谷真人氏より「審査会委員はココを見ている!!」と題する講義が行われ、日ごろのソーシャルワークと審査会の視点を学びました。

演習では、お互いの日ごろの実践・経験を分かち合うため、グループによる事例検討を交えて、本事業の担当者が抱える課題、困っていること、悩んでいること等、グループワークでの意見交換により、課題の対処法、解決策や成功談により理解を深めるやり取りが行われました。最後に、神谷講師から「専門員は、このように口角を上げた笑顔が大切です！」と教えていただきました。

また、昨年度、全国社会福祉協議会で開催された、「日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅱ」の研修参加報告を、一宮市社協　星原絵里加さん、豊川市社協　梶村友美さん、刈谷市社協　江良惇さん、日進市社協　鈴木美知子さんの4名の専門員から、研修に参加しての「学び」、「気づき」、「研修に参加して皆さんにお伝えしたいこと」、「これからに向けてのビジョン」について発表していただき、受講者との質疑応答・意見交換により理解を深めました。

こうですか？

笑顔が大切です！

受講者からは、「他市町村の担当者と話し合い、あらためて見つめ直すことができるとても有意義な時間でした。」「専門員1人で抱え込まないようにします。大変、充実した1日でした。」「是非、事例検討会を開催して欲しいです。」といった大変意欲的な意見が寄せられました。

講師からの学びや、受講生同士で学び合った内容から、今後の地域におけるよりよい福祉サービスを提供できるよう、審査会、市町村社協、県社協事務局一丸となって地域での実践を推進してまいります。

グループワークの様子

「生き生き長寿フェア2018」開催のご案内

今年も10月6日（土）午前10時から、あいち健康の森公園（大府市・知多郡東浦町）にて、「生き生き長寿フェア2018」を開催します。

生き生き長寿フェアは、高齢者を中心に誰もが参加できるイベントで、県民の皆様の健康づくり・社会参加・生きがいづくりを図るとともに、活力と潤いに満ちた長寿社会の実現を目指して毎年実施しています。

当日は、マラソンやウォークラリー等で熱戦が繰り広げられるほか、ニュースポーツ体験やステージアトラクション、スタンプラリーなど、楽しい催しが盛りだくさんです。

また、会場内の大芝生広場では、多くの企業・団体が出展するブースが並び、さまざまなイベントをお楽しみいただけます。

ご家族、ご友人など、みなさんお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください！

■ふれあいウォークラリー大会の様子

■園児鼓笛隊によるアトラクション

※写真はいずれも平成28年度開催時のものです。

交 通

JR名古屋駅から
JR大府駅まで13分

大府駅から
バスで約10分

大府駅西口から臨時無料バスを運行します。

マラソン・ウォークラリー参加者募集

この中で行われる「マラソン交流大会」及び「ふれあいウォークラリー大会」の参加者を現在募集しております。参加は無料です。みなさんふるってご応募ください。

なお、「マラソン交流大会」「ふれあいウォークラリー大会」シニアの部の上位入賞者は、2019年度に和歌山県で開催される「ねんりんピック紀の国わかやま2019」へ愛知県代表選手として派遣する予定です。

《応募方法等》

愛知県内の各市区町村・愛知県県民相談・情報センター、各県民相談室、各市区町村社会福祉協議会等で配布している募集案内チラシ裏面の参加申込書に必要事項を記入のうえ、8月31日（金）まで（当日必着）に、FAX又は郵送でお申し込みください。なお、応募者多数の場合は、先着順としますので、お早めにご応募ください。

お問い合わせ [TEL]052-212-5521 [HPアドレス]http://aichoju.ec-net.jp/

全力プレーで活気ある選手の活躍!!

県障害者スポーツ大会を開催しました

平成30年4月14日(土)、星ヶ丘ボウルにて開催したボウリング競技を皮切りに、5月12日(土)の清須市清洲勤労福祉会館ARCO清洲での水泳競技・卓球競技、5月19日(土)～20日(日)の豊田市運動公園陸上競技場での陸上競技・フライングディスク競技、5月27日(日)の岡崎市福祉の村友愛の家でのサウンドテーブルテニスの各大会を開催しました。

県内各地から総勢約1,300人の選手のエントリーがあり、選手の全力プレーとたくさんの声援、そして大会を支えていただいた大勢のボランティアの参加で各会場はにぎわいました。

本年度も特別支援学校等に「スポーツをする、応援する絵」の作品募集を行い、優秀作品を清須会場・豊田会場で展示しました。豊田会場では、開会式に豊田市立井郷中学校吹奏楽部による演奏を行っていただき、また大会アトラクションとして協力いただいた、とこなめちんどん「ほんもの屋」の生演奏のなか、最優秀作品の表彰式を行い、選手や来場者の方々から表彰者に祝福の大きな拍手が送られていました。

豊田会場では天候にも恵まれ、交流の場として「ふれあい広場」を開催しました。ディスゲッター体験・手作りおもちゃ・模擬店等の企画はどれも大変好評で、大会参加選手のみではなく、選手のご家族や、一般の来場者の方など、多くの方がともに楽しむ場として定着しています。

また、今年度も学校対抗、福祉サービス事業所対抗のリレー競技を実施し、チームワークを活かした団体戦に会場全体が大変盛り上がりました。

本年度新たに大会運営に参加していただいた大学、企業の方々の協力もあり、大会は無事終了しました。どの競技も、多くの声援にこたえて、選手たちの全力で競技する姿は活気があふれていました。また、来年、元気な姿でお会いしましょう。

■ボウリング競技

■水泳・卓球競技

■陸上・フライングディスク競技

■井郷中学校吹奏楽部より開会式生演奏

■サウンドテーブルテニス

福祉人材センターだより

「福祉の仕事に就きたい方、関心のある方が多数来場されました。」

― 福祉・介護の就職総合フェアを開催しました ―

平成30年6月30日（土）名古屋国際会議場イベントホールにおいて「福祉・介護の就職総合フェア」を開催しました。福祉の職場を目指す方、福祉の仕事に関心のある方を対象に福祉事業所の担当者との個別面談、求人情報の提供、働き方や関係する資格の取得に関する相談等を行いました。今回のイベントには、159法人の参加を頂き、156ブースの出展となりました。当日、会場では、来場された方が、より多くのブースを訪れていただけるよう、スタンプラリーを実施しました。来場者が、いくつものブースを訪れ、担当者からの説明を熱心に聞き入っていました。

これからも介護を必要とする人が増える一方で、それを支える介護分野での慢性的な人材不足が懸念されています。

愛知県福祉人材センターでは、福祉・介護の魅力を発信するとともに、求職者の方にはより多くの求人情報が得られるように、また、求人事業所の方には、福祉介護の人材確保が非常に難しくなっている現状において、少しでも役立てる場を提供できるイベントにしてまいります。

次回は、12月に開催を予定しておりますが、詳細につきましては、決まり次第ご案内させていただきます。

今後とも、当センターの福祉人材無料職業紹介所を積極的に利用していただくことにより、人材確保の支援に繋がればと思っております。

また、保育士の人材確保につきましても、喫緊の課題となっていることから、保育所就職支援フェアを今年度は、11月4日ウインクあいちにおいて開催します。なお、当日は、一般社団法人愛知県私立保育園連盟及び公益社団法人名古屋民間保育園連盟においても保育の就職イベントが予定されておりますので、併せてご案内いたします。

平成30年度の研修のご案内

福祉人材センターでは、福祉人財を育成・支援する**「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」**、施設・事業所に勤務する職員や行政・社協職員を対象とした**「社会福祉従事者研修」**を開催してまいります。

全国社会福祉協議会
『福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程テキスト』

お申込みは
本会ホームページの 研修計画 をクリック！
皆様のご参加を心よりお待ちしています。

お気に入りに登録してください!!

福祉人材センター「研修事業のご案内」のページからお申し込みください↓
http://www.aichi-fukushi.or.jp/intoro/jinzai/kensyu_keikaku.html

愛知県共同募金会だより

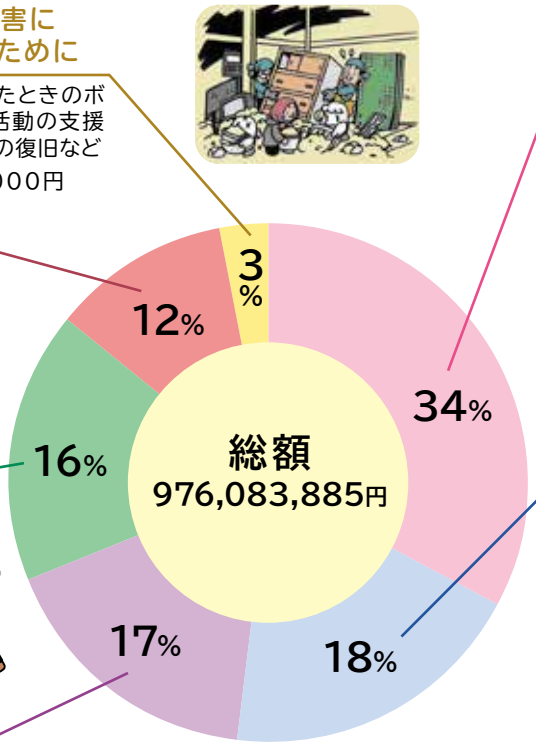
みなさまのご協力が地域の福祉を支えます

平成29年度共同募金実績額 **889,054,848円**

一般募金 725,768,066円　歳末募金 163,286,782円

昨年度の共同募金運動につきましては、県民の皆様方のあたたかいご理解のもと、多額のご協力をいただき誠にありがとうございました。

お寄せいただいた寄付金に、平成25年度災害等準備金取崩13,500,000円と配分予備金等73,529,037円を加え、総額976,083,885円を次のように配分いたしました。



大規模災害に対応するために

災害が起きたときのボランティア活動の支援や福祉施設の復旧など

26,000,000円

共同募金運動をすすめるために

共同募金運動のお知らせや募金活動資材の購入など

112,410,077円

©中央共同募金会

障害のある方のために

職能訓練や生活訓練、作業用の備品の整備など自立にむけた支援、福祉車両の購入など

156,735,896円

高齢者のために

一人暮らし高齢者の交流事業や栄養バランスのとれた食事の提供、介護予防のための生きがい活動の支援など

164,446,241円

地域の課題を抱える人のために

地域で進められるボランティアの育成・研修や様々な福祉活動・相談活動、地域で活動する団体の支援など

336,164,244円

子どもたちのために

体験学習などの福祉教育、子育て支援事業、子ども会活動の支援、遊具の整備など

180,327,427円

共同募金の使いみちが調べられます。

http://www.aichi-akaihane.or.jp/

"ありがとう"メッセージ

社会福祉法人　向山保育園
むかい山こども園（豊橋市）

配分事業：新館1・2階トイレの改修

この度、共同募金の配分金により、トイレの改修工事を行いました。

「うわ～！」「きれ～い！」新しいトイレに足を踏み入れた時、子どもたちの歓声が響き渡りました。

設備は40年を経て、水道管は何度もトラブルを起こし、使い勝手も良いとは言えませんでした。

子どもが安心して使えるように、また、園に遊びに来たご家族が一緒に入れるようにとずっと温めてきた願いが形になりました。

これからも、未来に輝ける子どもたちの成長を支えるよう取り組んで参ります。

募金にご協力いただいた皆様に感謝します。本当にありがとうございました。

ふれあいネットワーク
あいちのふくし 2018.08 no.492

WEB応募できます

第32回ふれあいフォトコンクール作品募集!

毎年県内外から多くの方々に応募をいただいている「ふれあいフォトコンクール」を今年も実施します。

優秀作品には賞金・表彰状等が贈られます。また、本誌「あいちのふくし」の表紙などに使わせていただきます。今年から新たにWEB部門を開設しました。スマートフォンなどからもお気軽にご応募ください!

第31回ふれあいフォトコンクール
最優秀作品「将棋大会」(青木正雄さん撮影)

テーマ

【プリント部門】
「あ」んしん安全な社会」
「い」きいきとしたみんなのスマイル」
「ち」いきでのふれあい」
【WEB部門】
「あつまれ家族のスマイル
～おじいちゃん・おばあちゃん・あかちゃんも」

各部門お一人につき5点まで応募可能

賞

【プリント部門】
最優秀賞(5万円)
優秀賞(2万円)、特別賞(1万円)
【WEB部門】
優秀賞(2万円)
愛知県知事賞、県社協会長賞
NHK厚生文化事業団理事長賞
中日新聞社会事業団理事長賞 他

【応募締切】平成30年10月31日(水)

応募方法等は愛知県社会福祉協議会総務部にお問い合わせいただくか、本会ホームページをご覧ください。

電話番号 (052)212-5500
ホームページアドレス http://www.aichi-fukushi.or.jp/

第10回 福祉の星フォーラムを開催します!

参加費 無料

開催日 平成30年9月23日(日・祝)
開会13:00 閉会17:30
会場 中日新聞社 6階ホール
対象 福祉現場で働いている方、福祉の仕事に就こうと思っている方、社会福祉に関心のある方

プログラム

総合司会:林 ともみ 氏

よしもとクリエイティブ・エージェンシー

トークライブ

出演:レギュラー
(よしもとクリエイティブ・エイジェンシー所属・介護職員初任者研修資格取得)

特別講演

講師:髙瀬 義昌 氏(たかせクリニック理事長、ITヘルスケア学会副代表 等)

フレンドリーディスカッション

コーディネーター:渡辺 哲雄 氏(日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員)
シンポジスト:施設現場で働く職員等
アドバイザー:髙瀬 義昌 氏(予定)

ネットワークタイム

ステージから下りたシンポジストを囲んで参加者が自由に本音で語り合います。

お問い合わせ先 : 愛知県社会福祉協議会 総務部
電話番号 (052)212-5500
ホームページアドレス http://www.aichi-fukushi.or.jp/

ご寄付に感謝

本会が設置している福祉基金等にたくさんのご寄付をいただき、ありがとうございました。みなさまからの善意を「あたたかい福祉社会」づくりに活かしていけるよう事業に取り組んで参ります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いします。

ご寄付いただいた方(平成30年2月～平成30年5月)

一般財団法人荒川磯慈善会 様 …(長久手市)
PSM協力会 様……(名古屋市)
水谷 巍 様 ……(名古屋市)
愛知県遊技業協同組合 様 ……(名古屋市)
〔4件 ご寄附順〕

ミニ福祉検定 解答

A 3 57,099人

改正道路交通法では、75歳以上の免許更新時や信号無視など特定の交通違反をした際に受ける認知機能検査で、「認知症の恐れがある」と判断された場合、医師の診断を義務化しました。「認知症の恐れがある」と判断された、57,099人のうち最終的に運転免許の取り消し・停止は1,892人に上り、改正前の2016年の3倍以上となりました。

出典:福祉新聞(6月18日発行)

問題は…2ページにあります。

Q&A 福祉の保険

Q ボランティア活動中にケガをしてしまいました。どのように手続きをしたらいいですか?

A ケガをした日から30日以内に、加入手続きをした市区町村社会福祉協議会へご報告ください。詳しくは、本会ホームページ ー福祉の保険ー「事故が起きたら…」の項目をご覧ください。

加入手続き・お問い合わせは、お住まい又は活動場所の市区町村社会福祉協議会へ

取扱代理店	株式会社みらいの保険 (旧 愛知福祉朝日保険サービス) TEL.052-221-0294
引受保険会社	三井住友海上火災保険株式会社 TEL.052-223-4360

2019年版 「社会福祉手帳」「民生委員・児童委員手帳」ただいま申込受付中!!

県内すべての社会福祉施設名簿を収録!!(除:保育所)

ご購入希望の方は、送付先住所・氏名・電話番号・希望冊数を記入の上、県社協総務部までFAX・郵送でお申し込みください。本会ホームページから、申込書をダウンロードしていただくこともできます。

写真は平成30年版です。

価格	1冊530円(税込)
体裁	大きさ:縦140ミリ×横85ミリ 表紙:ビニール製
主な内容	2019年・2020年カレンダー、月間予定表、週間予定表(2018年12月～2020年3月まで) 住所録等 資料編(A):関係法令、各種福祉手当・貸付制度の概要 資料編(B)<別冊仕様> 各種相談所、紹介所、社会福祉施設、関係団体、県・市区町村役場及び社会福祉協議会住所等一覧、健康10か条(がんを防ぐための新12か条等)
送料	15冊以上は無料。ただし15冊未満は申込者負担。(1冊250円、2～14冊380円)
支払方法	請求書を同封しますので、ATMでお振込みください。
申込先	県社協総務部 FAX 052-212-5501
納品	11月下旬

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 主なお問い合わせ先
■総務部:052-212-5500
■民生児童部:052-212-5506
■福祉サービス利用支援センター:052-212-5513
■福祉さかいセンター 長寿生かい振興部:052-212-5521/障害者福祉・スポーツ部:052-212-5523
■地域福祉部:052-212-5502
■施設福祉部:052-212-5509
■福祉人材センター:052-212-5516

R100 「あいちのふくし」は資源や環境に配慮して、再生紙100%・エコインクを使用しています。